

訂正とお詫び

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2002年12月号

● 最新電力線搬送ネットワークの基礎…

p.212 左↑4行目：モデム機器などが

p.214 左↓2行目：单相3線式の

■ 2003年1月号

● 目次

p.3 目次：第2章に下記を追加

線式4～20mAトランスミッタ、長距離直伝送用D-A変換回路

p.3 目次：第3章に下記を追加

最大出力1.5kWのIGBTドライブ回路

● 特集

p.128 図1-1： R_1 を流れる電流は1mA以下。 R_1 の下側からICへ向かう線を削除し、 R_1 の下側からK端子へ接続する。 C_{AK} は $C_{AK} < 0.001 \mu\text{F}$ または $C_{AK} > 10 \mu\text{F}$

p.130 図6-1： Tr_1 のドレインとソースを入れ替え。

p.134 表12-1： V_{out} の欄はすべて $-V_{in}$ または $2V_{in}$

p.136 図15-1： V_{CC1} から Tr_1 のコレクタに向かってショットキー・バリア・

ダイオードERA83-004を接続する。

p.142 図21-1のキャプション：小容量、図21-1左上の V_{CC} は7V

p.148 図11-1： R_3 の3mm上の接続点を削除。OP184(アナログ・デバイセス)

p.154 図21-1のキャプション：変換する電圧-周波数変換回路

p.159 左↑3行目：最低周波数は $f_r/2^{32}$ までです…。右↑9行目： $T_W = \frac{2^{32}f_o}{f_r}$

p.159 図30-1：ピン15の C_2 は1000pF

p.168 右↑10行目：以上を狙います。

p.175 図17-1： IC_1 のRCピンのピン番号は7。位相制御ロジック→相制御ロジック。 D_3 と D_4 はD1NL20U

p.176 右↓1行目： L レベルでCW、 H レベルでCCW。右↑4行目：電流検出抵抗は $0.2 \Omega \pm 3\%$

p.176 図18-1：ENABLEピンのピン番号は18

p.184 図11-1： V_{cont1} および V_{cont2} はHレベルでOFF、LレベルでON

p.184 図12-1： V_{CC} (+9V)の説明中

の $R_4 \rightarrow R_1$ 、 $R_6 \rightarrow R_3$

p.184 4-12に関する説明の右↑5行目： $R_1 \rightarrow R_1 \sim R_3$

p.184～p.185 図12-1のキャプションと図13-1のキャプションを入れ替え。

p.201 図6-1： D_2 のピン2とピン1を接続。 IC_4 のピン2のプルアップを削除。 L_1 の右側から R_9 への接続線を削除。 L_1 の右側から VR_1 の3番端子へ接続する。

p.202 図7-1： $R_1 \sim R_3$ を削除。R、G、Bの各信号入力とGND間にそれぞれ75Ωを接続する。

● わかる!!アナログ回路教室

p.242 表13-3：実験回路Iのデータと実験回路IIのデータをすべて入れ替え。

● ビデオ信号の評価テクニックを学ぼう

p.249 右↑4行目：EIA-170-M規格→SMPTE 170M規格

p.250 写真2：1750型ベクトルスコープ

p.252 写真3：1780型波形モニター

● PIC16F84を使った温度コントロ…

p.277 右↑4行目：「DS18…リード線」は「ユニバーサル基板での配線」